

『当面のストラテジー』(河合レポート)

Youtube放映

(毎週火曜20:00~約40分予定)

<https://www.youtube.com/user/kabucum8703>

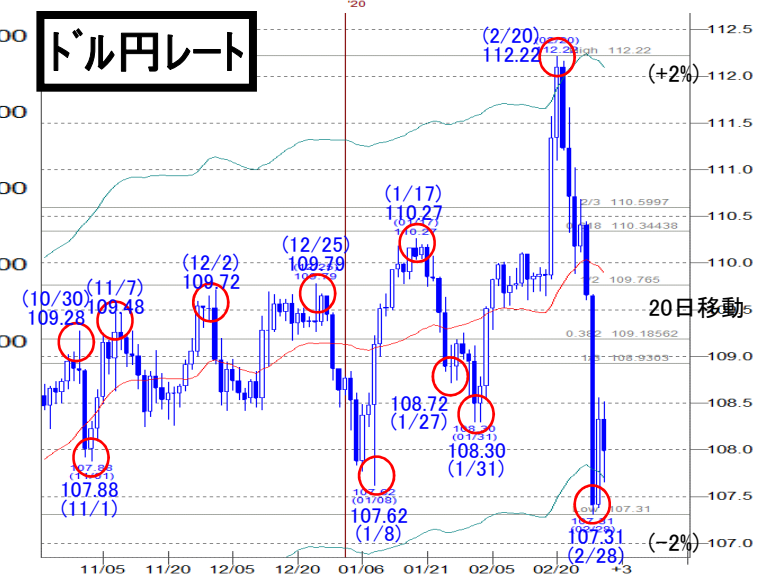
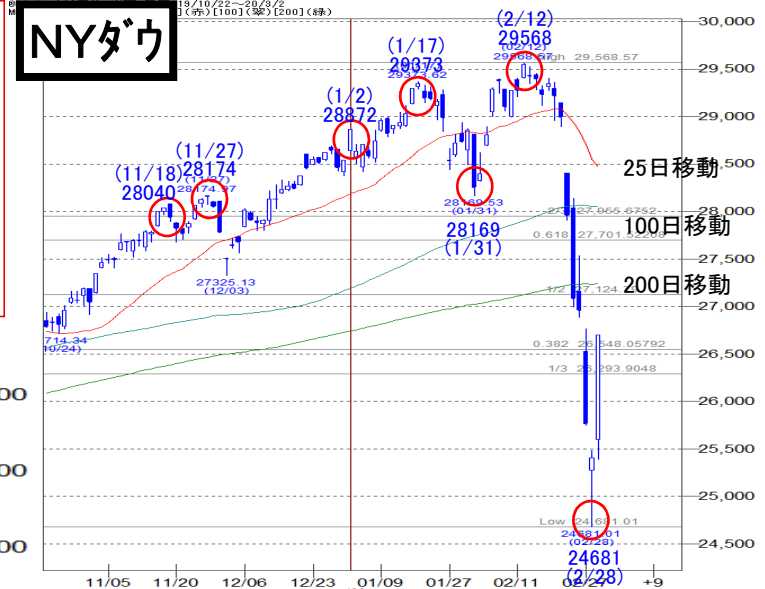
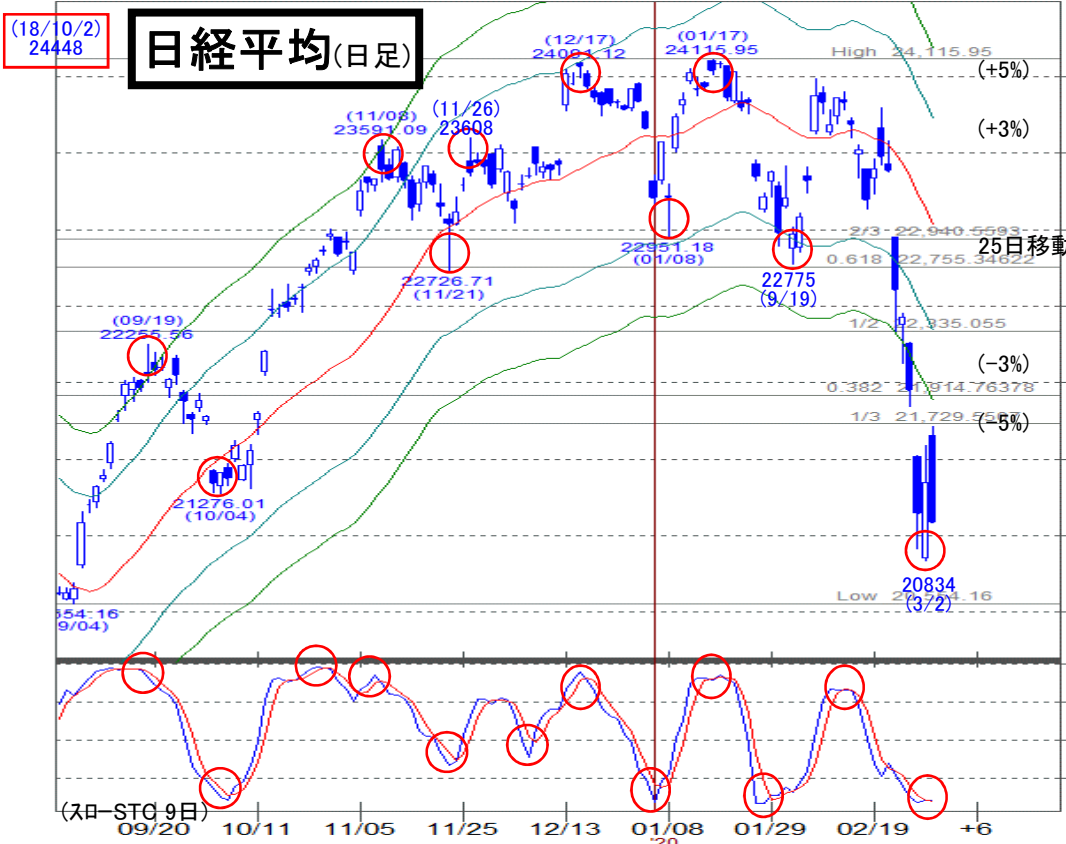
au Kabucomストラテジーレポート

[2020年3/2~3/6 No.0528]

~陽があるから影がある。陽がないところには影さえ無い~

●外部環境

【当面のマーケットポイント】3/2-3/6は、前週から本格的な新型コロナ肺炎のダウントレンドがスタートしたことで、要経過観察の週となろう。特に、2月産業界の月次データが出始めることから要注意だ。飲食や小売などの月次売上高は、中国を中心としたインバウンド関連に比重をおいていない企業が少ないことから、春節訪日での消費を当て込んでいた企業は既に月次の数値に減少が表れ始めている。H20リテールの阪神阪急は月次売上高の前年同月比が1.8%減、三越伊勢丹は同20.3%減だ。また、電鉄ではJR東日本の鉄道営業収入は5.9%減となっており、鉄道については国内で人の移動が激減した3月も引き続き大きく減収となることが見込まれる。このように、今回の新型コロナの景気・企業業績への悪影響はまだこれから現出してくる。これらの悪化した数値が出切らなければ底入れは未だ遠いといえよう。



(C) QUICK Corp. All rights reserved.

(出所) 当頁図表及びコメントは各種データ資料よりQUICK Workstation描画にてauカブコム証券作成。

—当資料のご利用にあたり、お客さまにご確認いただきたい事項を巻末に記載しています。ご確認のほど、よろしくお願い致します—

1

~陽があるから影がある。陽がないところには影さえ無い~

●投資環境 ポイント

〔マーケット環境の現状と行方〕

環境面からの戦略

(ポイント)

新型コロナ相場のダウトレンドは2/24NY
ダウ1031ドル安が号砲となって始まったばかり。
要注意は、景気鈍化と企業業績悪化が2月
から始まったこと。1-3月期は悪化の始まり、
4-6月期もその余波から下練りが続く

2月第3週までの米国株高と円安が下値を支え、
新型肺炎の感染拡大懸念が上値を抑える
レンジ相場の「綱引き相場」から完全移行。

2月第4週からは下放れのダウトレンド相
場。下値を読み買い下がりには徹すること。

(2/18プチアップルショックで一時390円安
23133円までの下落がその予兆として再確認)

中期下値メドは、

- 20700円、PBR1倍
- 20110円、昨年8月安値
- 20000円、大台のフシ
- 19155円、18/12/25終値ベース安値
- 18200円、アベノミクス上げ幅0.318倍押し

終息宣言はSARSの時の4ヵ月強と気候要因
で6月を想定。米国株高とドル高円安が下値
を支える「新型肺炎懸念」Vs「外部環境良
好」の綱引きは終焉。さらなる下放れへ。

戦略は調整局面の下値模索を要経
過観察、決算発表終了後も「来期」業績への
注目点の移行は進まず、1-3月期への懸念
がマーケットを沈めよう。下値20000円台を念
頭に、短期的な物色の変化に着目すること。

中国・上海総合(日足)



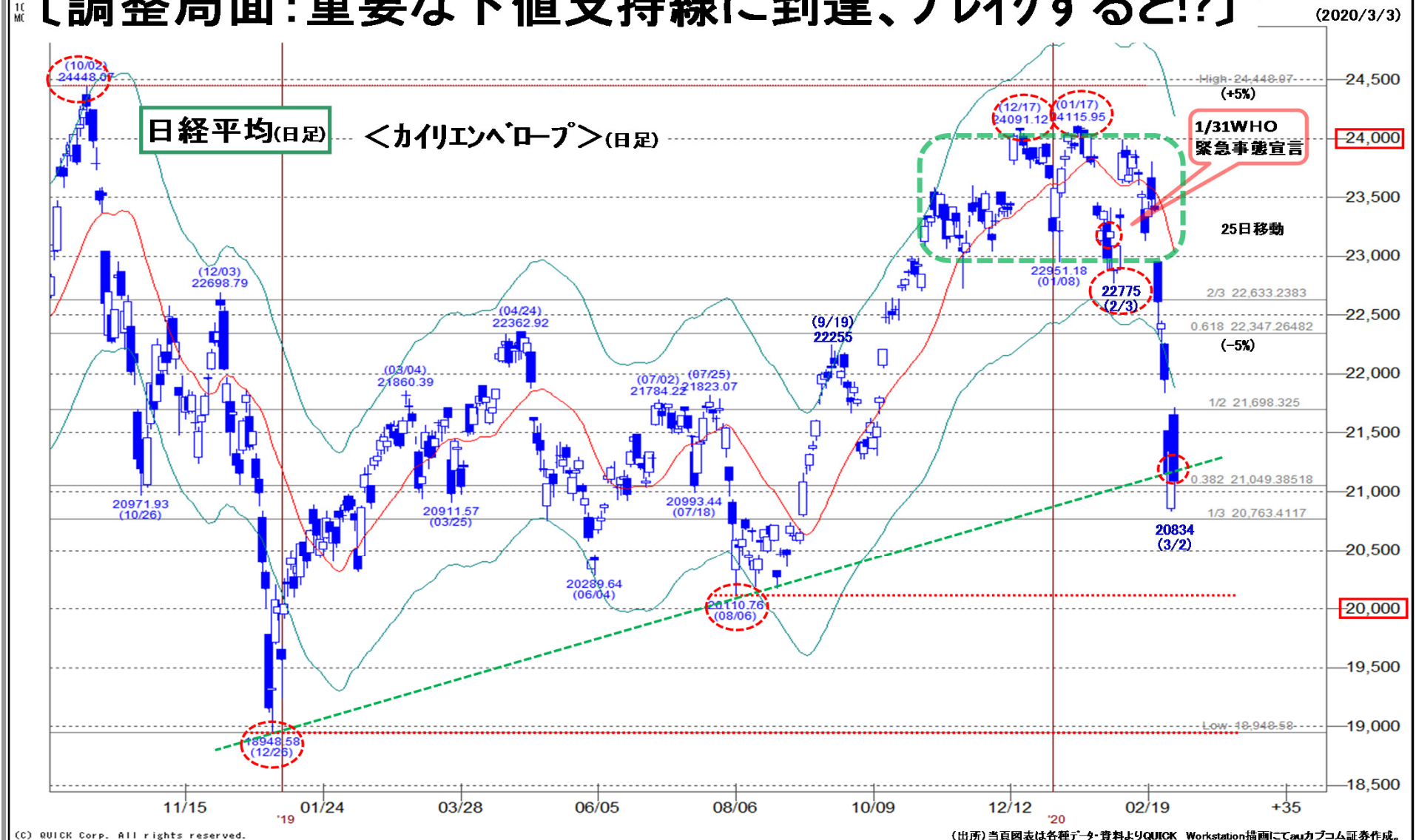
(出所) 当頁図表及びコメントは各種データ・資料よりQUICK Workstation描画にてauカブコム証券作成。

～陽があるから影がある。陽がないところには影さえ無い～

●投資環境 ウォッチ

(ウォーニング
ポイント)

〔調整局面：重要な下値支持線に到達、ブレイクすると!?〕

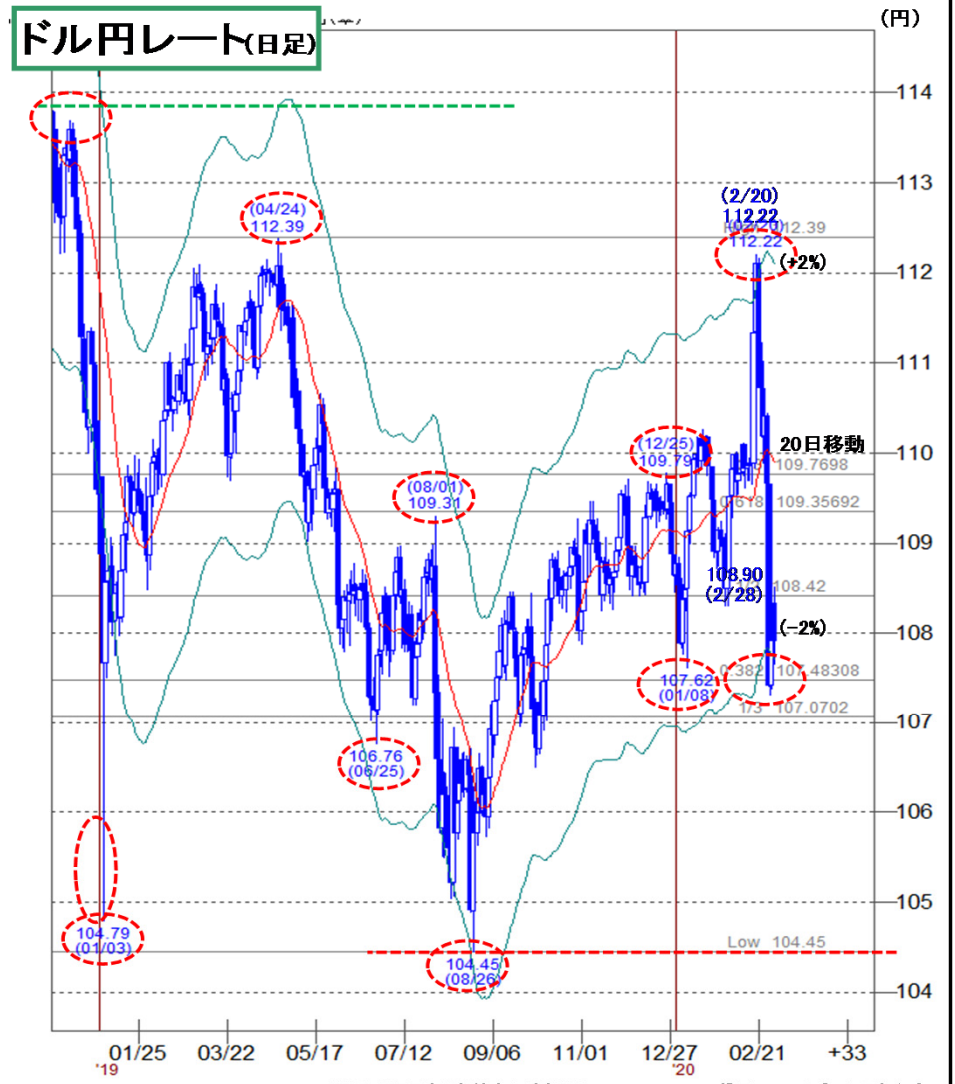
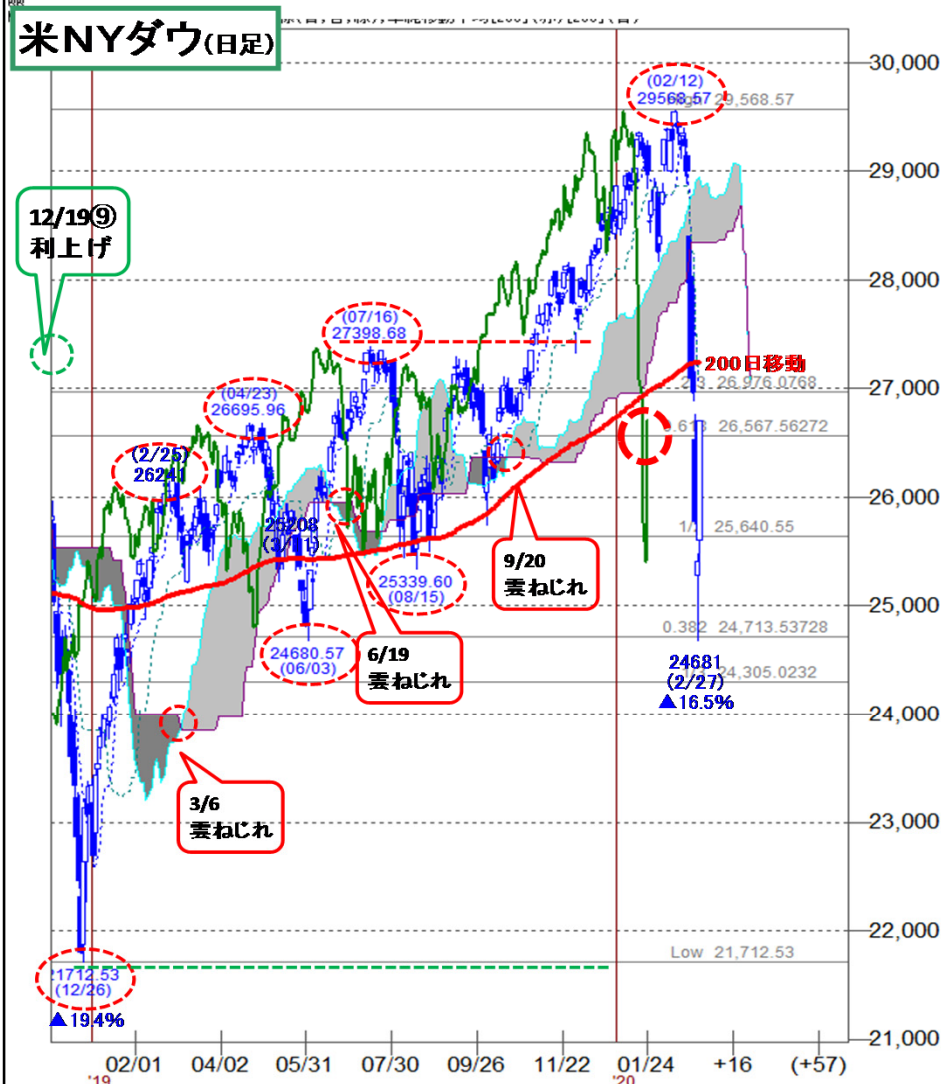


～陽があるから影がある。陽がないところには影さえ無い～

●投資環境 ウォッチ

(ウォーニング
ポイント)

〔外部環境：米国：調整入り、為替ドル安へ〕



(C) QUICK Corp. All rights reserved. (出所) 当頁図表は各種データ・資料よりQUICK Workstation描画にてauカブコム証券作成。

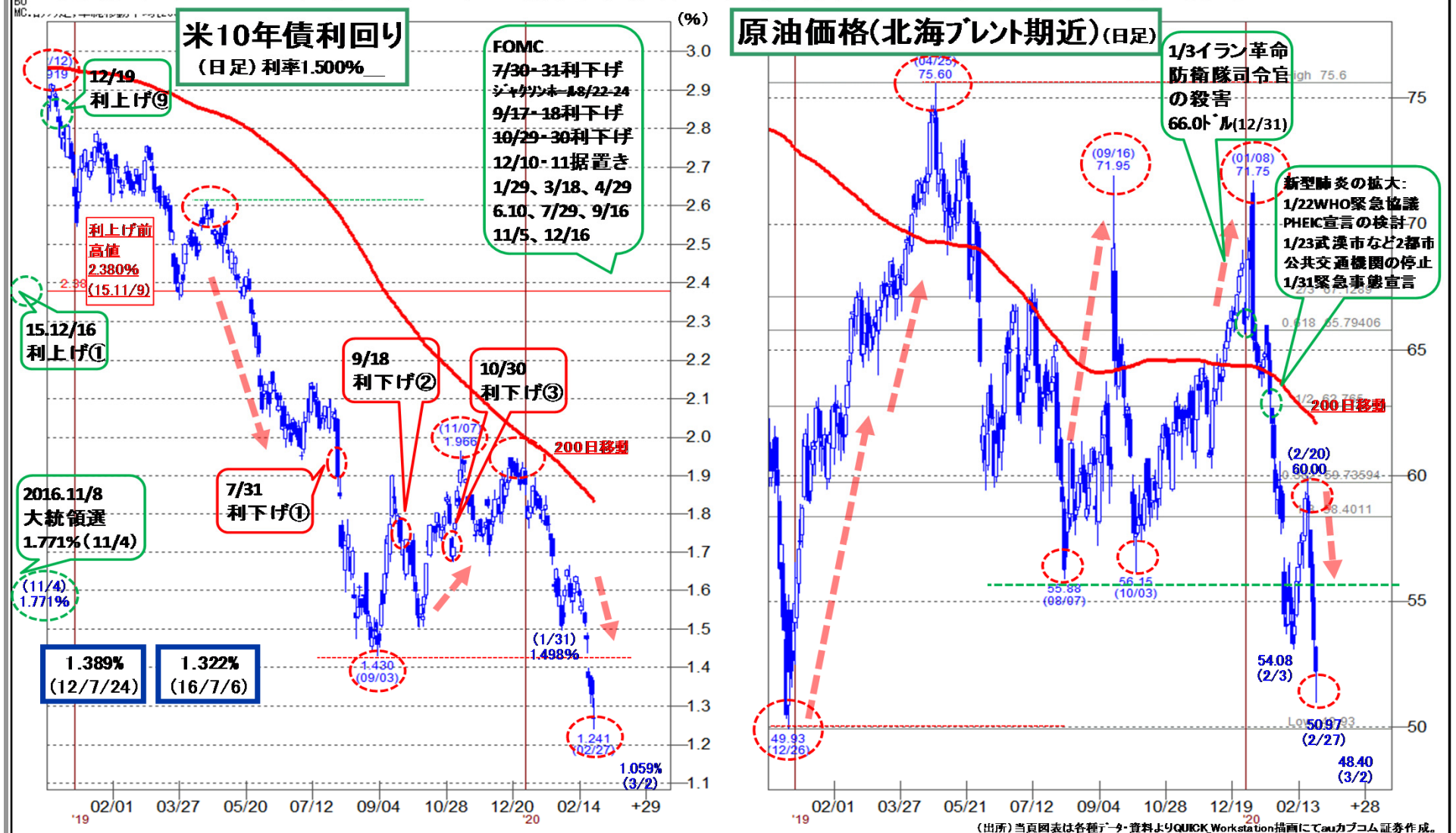
～陽があるから影がある。陽がないところには影さえ無い～

●投資環境 ウォッチ

(ウォーニング
ポイント)

『炭鉱のカナリア』で危機計測：米長期金利と原油価格

(2020/2/27)



～陽があるから影がある。陽がないところには影さえ無い～

●投資
アイデア

2月末、第3Q決算終了後の新型コロナ懸念下のレーティングランクは!?

ロング(Buy)参考リスト

「買い」上位の株価レーティングランキング(月末集計)

20年2月末時点 ―QUICKコンセンサス調べ―

※採用社数が、5社以上の銘柄のみランキングの対象。

順位	コード	銘柄名	レーティング	社数
1	3186	ネクステージ	2.00	5
1	4680	ラウンドワン	2.00	5
3	6501	日立	1.90	10
3	9984	ソフトバンクG	1.90	10
5	1605	国際帝石	1.89	9
6	4681	リゾートトラス	1.86	7
6	4921	ファンケル	1.86	7
8	2607	不二製油	1.83	6
8	4043	トクヤマ	1.83	6
8	7164	全国保証	1.83	6
8	9024	西武HD	1.83	6
12	6504	富士電機	1.82	11
13	1893	五洋建	1.80	5
13	2471	エスフル	1.80	5
13	6145	NITTOKU	1.80	5
13	6622	ダイヘン	1.80	5
13	7250	太平洋	1.80	5
18	6758	ソニー	1.79	19
19	6981	村田製	1.78	18
20	3088	マツモトキヨシ	1.75	8
20	6407	CKD	1.75	8
20	8766	東京海上	1.75	8
23	3360	シブHD	1.67	6
23	9005	東急	1.67	6
25	2002	日清粉G	1.60	5
25	2810	ハウス食G	1.60	5
25	6383	ダイフク	1.60	10
25	6920	レーザーテック	1.60	10
25	7296	エフ・シー・シー	1.60	5
25	9065	山九	1.60	5

株価レーティング月間 上昇幅ランキング(月末集計)

20年2月末時点 ―QUICKコンセンサス調べ―

※採用社数が、5社以上の銘柄のみランキングの対象。

順位	コード	銘柄名	変化幅	2月末	1月末
1	6920	レーザーテック	0.72	1.60	0.88
2	1721	コムシスHD	0.40	0.80	0.40
2	2206	グリコ	0.40	0.20	-0.20
2	9627	アインHD	0.40	0.80	0.40
5	2127	M&A	0.37	1.20	0.83
6	4704	トレント	0.36	0.86	0.50
7	4541	日医工	0.33	0.33	0.00
7	8252	丸井G	0.33	1.50	1.17
7	8304	あおぞら	0.33	-0.17	-0.50
【リト】→10	3283	プロロジス	0.30	0.80	0.50
10	5401	日本製鉄	0.30	0.50	0.20
【リト】→12	3269	ADR	0.29	0.29	0.00
12	6395	タダノ	0.29	0.00	-0.29
12	6908	イリソ電子	0.29	1.00	0.71
15	4768	大塚商	0.28	0.92	0.64
15	8031	三井物	0.28	1.50	1.22
【リト】→15	8953	日本リテール	0.28	0.50	0.22
18	3116	トヨタ紡織	0.25	0.25	0.00
18	4151	協和キリン	0.25	1.25	1.00
18	8355	静岡銀	0.25	0.00	-0.25
21	3659	ネクソン	0.22	1.22	1.00
21	9143	SGHD	0.22	0.78	0.56
23	6145	NITTOKU	0.20	1.80	1.60
23	7575	日本ライフ	0.20	0.60	0.40
23	7730	マニー	0.20	0.80	0.60
23	7988	ニフコ	0.20	0.40	0.20
27	4927	ポラオールHD	0.19	0.55	0.36
28	2371	カカコム	0.18	0.27	0.09
28	7269	スズキ	0.18	0.71	0.53
30	1911	住友林	0.17	1.17	1.00

(注)レーティング値は各調査機関レーティングを-2/-1/0/1/2の5段階数値に換算して平均化した値。社数は調査機関カバー社数。調査機関カバー社数5社以上対象。

左表枠内は上位30位に今月ランクインした銘柄。右表枠内は直近月末値がレーティング1以上。QUICK社集計、QUICK Workstationよりauカブコム証券作成

～陽があるから影がある。陽がないところには影さえ無い～

●投資
アイデア

2月末、第3Q決算終了後の新型コロナ懸念下のレーティングランクは!?

ショート(Sell)参考リスト

「売り」上位の株価レーティングランキング(月末集計)

20年2月末時点 ―QUICKコンセンサス調べ―

※採用社数が、5社以上の銘柄のみランキングの対象。

順位	コード	銘柄名	レーティング	社数
1	4506	大日住薬	-1.00	8
1	5803	フジクラ	-1.00	5
3	8227	しまむら	-0.89	9
4	9107	川崎船	-0.88	8
5	3197	すかいHD	-0.80	5
6	7261	マツダ	-0.76	17
7	6806	ヒロセ電	-0.75	12
8	2782	セリア	-0.71	7
9	5332	TOTO	-0.67	6
9	8967	日本ロジ	-0.67	6
11	6871	マイクロクス	-0.60	5
12	5711	三菱マ	-0.57	7
13	2651	ローソン	-0.50	12
13	6366	千代建	-0.50	6
13	6988	日東電	-0.50	12
16	6954	ファナック	-0.46	13
17	5110	住友ゴム	-0.44	9
17	6753	シャープ	-0.44	9
19	6472	NTN	-0.43	7
20	2432	DeNA	-0.42	12
20	8028	ファミリーマート	-0.42	12
22	7201	日産自	-0.41	17
23	2212	山崎パン	-0.40	5
23	4217	日立化成	-0.40	5
23	7186	コンコルディア	-0.40	10
26	2229	カルビー	-0.38	8
26	8267	イオン	-0.38	8
28	2579	コカコーラBJH	-0.33	9
28	3863	日本紙	-0.33	6
28	5406	神戸鋼	-0.33	9

(注)レーティング値は各調査機関レーティングを-2/-1/0/1/2の5段階数値に換算して平均化した値。社数は調査機関カバー社数。調査機関カバー社数5社以上対象。

左表枠内は上位30位に今月ランクインした銘柄。右表枠内は直近月末値がレーティングマイナス値。QUICK社集計、QUICK Workstationより auカブコム証券 作成

株価レーティング月間 下降幅ランキング(月末集計)

20年2月末時点 ―QUICKコンセンサス調べ―

※採用社数が、5社以上の銘柄のみランキングの対象。

順位	コード	銘柄名	変化幅	2月末	1月末
1	4812	ISID	-0.50	1.00	1.50
1	6857	アドバンテ	-0.50	0.88	1.38
3	2146	UT GROUP	-0.40	1.40	1.80
3	6269	三井海洋	-0.40	1.20	1.60
3	6376	日機装	-0.40	0.80	1.20
6	4849	エンJPN	-0.38	0.00	0.38
7	4912	ライオン	-0.37	-0.10	0.27
8	6366	千代建	-0.36	-0.50	-0.14
9	2432	DeNA	-0.34	-0.42	-0.08
10	4118	カネカ	-0.33	0.00	0.33
10	6028	テクノロHD	-0.33	0.67	1.00
10	6995	東海理化	-0.33	-0.33	0.00
10	7936	アシックス	-0.33	0.00	0.33
10	8960	ユニテットU	-0.33	0.00	0.33
15	6201	豊田織機	-0.28	0.29	0.57
15	6755	富通ゼネ	-0.28	0.29	0.57
15	9201	JAL	-0.28	1.29	1.57
18	2267	ヤクルト	-0.27	0.18	0.45
19	5332	TOTO	-0.24	-0.67	-0.43
19	7201	日産自	-0.24	-0.41	-0.17
21	2579	コカコーラBJH	-0.22	-0.33	-0.11
21	4004	昭電工	-0.22	0.89	1.11
21	6103	オークマ	-0.22	-0.22	0.00
21	9086	日立物	-0.22	0.56	0.78
21	9401	TBSHD	-0.22	0.00	0.22
26	2897	日清食HD	-0.21	0.90	1.11
26	6674	GSユアサ	-0.21	0.29	0.50
26	6902	デンソー	-0.21	1.29	1.50
26	8802	菱地所	-0.21	1.17	1.38
30	3231	野村不HD	-0.20	0.50	0.70

『当面のストラテジー』(河合レポート)

Youtube放映

(毎週火曜20:00～約40分予定)

<https://www.youtube.com/user/kabucor8703>

au Kabucomストラテジーレポート

[2020年3/2～3/6 No.0528]

～陽があるから影がある。陽がないところには影さえ無い～

- ・当セミナーは、情報提供を目的としており、特定の商品の推奨や売買に関する断定的判断の提供を目的とするものではありません。
- ・当セミナーにおいて、信用取引、先物・オプション取引や外国為替証拠金取引(FX)を含む当社取扱商品の勧誘を目的とした商品説明やご案内等、および証券口座開設のご案内をさせていただくことがあります。
- ・auカブコム証券のお取扱商品へのご投資の際は、各商品に所定の手数料や諸経費等をご負担いただく場合があります。各商品等は価格の変動、金利の変動、為替の変動等により投資元本を割り込むおそれがあり、また商品等によっては投資元本を超える損失(元本超過損)が生じるおそれがあります。
- ・各商品の手数料等は、商品、銘柄、取引金額、取引チャネル等により異なり多岐にわたるため、具体的な金額または計算方法を記載することができません。手数料等の詳細は、当社ホームページ(<https://kabu.com/cost/>)をご覧ください。手数料等には消費税が含まれます。
- ・自動売買を含むすべての注文は、必ず約定するものではありません。
- ・当社お取扱商品の手数料等およびリスクの詳細については、契約締結前交付書面、上場有価証券等書面、目論見書、約款・規定集および当社ホームページの「ご投資にかかる手数料等およびリスクについて」(<https://kabu.com/company/pressrelease/info/escapeclause.html>)や取引ルール等をよく読みの上、投資の最終決定はご自身のご判断とご責任でおこなってください。

＜現物株式取引(ブチ株®含む)に関するご注意事項＞

- ・株式は、元本や利益を保証するものではありません。株式は、金利の変動、為替の変動等により価格が変動するため、投資元本を割り込むおそれがあります。
- ・現物株式の手数料の概要は次のとおりです。＜現物株式＞最大3,690円(お電話での注文は、自動音声応答:100円、オペレーター経由:2,000円が別途加算)
- ＜ブチ株®＞約定金額×0.5%(最低手数料48円)(税抜)(お電話での注文は、オペレーター経由:2,000円(税抜)が別途加算)

＜信用取引に関するご注意事項＞

- ・信用取引の売買等においては、株式市場を取り巻く需給により株価が変動し投資元本を割り込むことがあります。株式の価格には、金利・為替・商品価格・天災等の株式市場全体に影響を及ぼす外部要因や発行会社自体の経営・財務状況の変化および発行会社に対する外部変化が影響を与えます。また、取引量の少ない株式の場合は、お客さまご自身のお取引により価格が変動することにも考慮が必要です。
- ・信用取引をおこなうには、売買代金の30%以上かつ30万円以上の保証金の差し入れが必要であり、保証金の最大約3.3倍のお取引が可能です。信用取引は、差し入れた保証金を上回る金額の取引が出来るため、損失の額が差し入れた保証金を上回る(元本超過損)おそれがあります。
- ・信用取引には取引期限があり、取引期限を超えてのお取引はできず、所定の期日までに反対売買がなされない時は、予め定められた方法により決済されますが、上場廃止、株式併合、株式分割、権利処理等により、返済期限が前倒しになる場合があります。
- ・信用取引の委託保証金率および代用有価証券の掛目は当社独自の判断によって変更する場合があります。委託保証金率および代用有価証券の掛目は当社独自の判断によって変更することがあります。
- ・制度信用取引と一般信用取引(長期、売短®)では、返済の期限等について異なる制約があります。合併や株式分割等の事象が発生した場合や、株式の調達が困難となった場合等に返済期限を設定することがあります。一般信用取引(長期、売短®)の建玉について株式の調達が困難となった場合等は、一定の催告期間を設定した上で、当社が定める期日に変更する場合がありますが、緊急かつやむを得ない事由がある場合には、催告期間を置かず期日を変更します。
- ・一般信用「売」はすべての上場銘柄に対応しているものではありません。一般信用(長期、売短®)売建可能銘柄は日々、貸付有価証券の調達状況等により銘柄および株数に変更がございます。
- ・権利落日の取引所基準価格は、前日終値から一株当たりの予想配当額分だけ理論上値下がります。
- ・権利付最終日の大引け時点で現物買いおよび信用売建玉をしている場合、現物については税金が差し引かれた配当を受け取り(配当金の約80%)、一般信用売建玉については配当調整金をお支払い(配当金の100%)いただきます。つきましては、配当金の約20%の差額分をご負担いただくことになりますので、予めご注意ください。
- ・保有する株式信用取引の評価損や決済損の状況により委託保証金の価値が最低維持率未満となった場合には、所定日時までに不足額を納める必要があります。
- ・信用取引に際して、品受/品渡事務手続き料・信用管理費・名義書換料をお支払いいただくほか、買付けの場合は買付代金に対する金利を、売付の場合は売付株式等に対する貸株料および逆日歩(品賃料)をお支払いいただきます。
- ・品受/品渡に関する事務手続き料は、株式等の譲渡所得の費用に計上するには別途確定申告が必要となります。詳しくは、税務署、税理士等にご相談ください。

- ・信用取引の手数料および諸経費は以下のとおりです。

＜手数料＞無料 ＜買方金利＞最大3.98% ＜売方金利＞0% ＜貸株料＞最大5.85%

＜投資信託に関するご注意事項＞

- ・投資信託は、元本や利益(分配金を含む)を保証するものではありません。組み入れた金融商品の値動き等により基準価額が変動するため、投資元本を割り込むおそれがあります。
- ・投資信託は銘柄により、販売手数料とは別に信託報酬、解約手数料、その他手数料等を要するものがありますが、銘柄毎に要件・料率等が異なりますので表示できません。手数料等は、当社ホームページの目論見書および目論見書補完書面等にてご確認ください。
- ＜指数先物取引・指数オプション取引に関するご注意事項＞
- ・指数先物取引および指数オプション取引は、元本や利益を保証するものではありません。指数先物取引および指数オプション取引は、対象指数の変動等により価格が変動するため、投資元本を割り込むおそれがあります。
- ・指数先物取引および指数オプション取引をおこなうには、「SPAN®証拠金額×当社が定める掛目ーネット・オプション価値の総額」で計算される証拠金の差し入れが必要です。なお、証拠金の額は、金融商品取引所等の規制及び当社独自の判断で変更されることがあります。このため、取引金額の証拠金額に対する比率は一定でなく、明記することができません。

免責事項

『当面のストラテジー』(河合レポート)

Youtube放映

(毎週火曜20:00～約40分予定)

<https://www.youtube.com/user/kabucor8703>

au Kabucomストラテジーレポート

[2020年3/2～3/6 No.0528]

～陽があるから影がある。陽がないところには影さえ無い～

- ・指数先物取引では、差し入れた証拠金を上回る金額の取引が出来るため、損失の額が証拠金の額を上回る(元本超過損)おそれがあります。また、指数オプションの売りをおこなった場合、予測に反する方向へ大きく向かった場合、損失の額が証拠金の額を上回る(元本超過損)おそれがあり、また損失額が限定されていません。
- ・指数先物取引および指数オプション取引の手数料の概要は以下のとおりです。 指数先物取引、指数オプション取引: (<https://kabu.com/item/fop/cost.html>)
- ＜外国為替証拠金取引に関する注意事項＞
- ・外国為替証拠金取引(シストレFX®、店頭FX、くりっく365)は、元本や利益(スワップポイントを含む)を保証するものではありません。外国為替相場や各国通貨の金利の変動等により、元本を割り込むおそれがあります。
- ・外国為替証拠金取引は、お客さまが行う取引の金額が、その取引についてお客さまが預託しなければならない証拠金の額に比べて大きい額となっているため、損失の額が証拠金の額を上回る(元本超過損)おそれがあります。
- ・外国為替証拠金取引の取引手数料は次のとおりです。なお、取引にあたっては提示する売値と買値の間には差額(スプレッド)があります。スプレッドは通貨ペアごとに異なります。＜シストレFX®＞無料 ＜店頭FX＞無料 ＜くりっく365＞無料 ＜くりっく365ラージ＞片道1枚あたり1,015円(税込)
- ・外国為替証拠金取引をおこなうにあたって、お客さまが預託しなければならない必要証拠金は次のとおりです。
- ＜シストレFX®＞個人口座: 取引金額の4%以上(レバレッジの上限は約25倍)。法人口座: 金融先物取引業協会が算出した通貨ペアごとの為替リスク想定比率を取引金額に乗じて得た額以上(為替想定リスク比率とは、金融商品取引業等に関する内閣府令第117条第27項第1号に規定される定量的モデルを用い算出したものです)。この証拠金額は、取引対象である為替の価格変動に応じて変動しますので、レバレッジは一定ではなく明記することができません。
- ＜店頭FX＞個人口座: 通貨ペアにより1万通貨あたり25,000円～1,000,000円(当社の定める証拠金コース)または取引金額の4%のいずれか大きい額以上(レバレッジの上限は約25倍)。法人口座: 通貨ペアにより1万通貨あたり25,000円～1,000,000円(当社の定める証拠金コース)または金融先物取引業協会が算出した通貨ペアごとの為替リスク想定比率を取引金額に乗じて得た額のいずれか大きい金額以上(為替想定リスク比率とは、金融商品取引業等に関する内閣府令第117条第27項第1号に規定される定量的モデルを用い算出したものです)。この証拠金額は、取引対象である為替の価格変動に応じて変動しますので、レバレッジは一定ではなく明記することができません。
- ＜くりっく365＞個人口座: 東京金融取引所が定めるレバレッジ25倍上限付HV方式(レバレッジ25倍に相当する金額と、その時々々の相場変動を踏まえ、ヒストリカル・ボラティリティ(HV)に基づいて算出した金額のうち、いずれか大きい方の金額を証拠金基準額とする方式)による証拠金基準額(レバレッジの上限は25倍)。法人口座(*) : 東京金融取引所が定めるHV方式(その時々々の相場変動を踏まえ、ヒストリカル・ボラティリティ(HV)に基づいて算出した金額を証拠金基準額とする方式)による証拠金基準額。この証拠金基準額は、過去の為替の価格変動に応じて変動しますので、レバレッジは一定ではなく明記することができません。
- (*) 以下に該当する法人口座については、個人口座に対する証拠金規制が適用されております。
- ・2012年4月20日以前にくりっく365取引口座開設済みの法人口座
- ・2012年4月21日以降、2017年2月24日までくりっく365取引口座開設済みだが開設手続き時点で「証拠金規制の解除」の申込(任意)を行わなかった法人口座
- ・外国為替証拠金取引では、証拠金額が一定の割合を下回ると「ロスカットルール」により強制的に反対売買がなされますが、差し入れた証拠金を上回る金額の取引が出来るため、短期的に予測に反する方向へ大きく向かった場合、証拠金の大部分あるいは証拠金の額を上回る損失が生ずるおそれがあります。
- ＜取引所株価指数証拠金取引に関するご注意事項＞
- ・取引所株価指数証拠金取引(株365)は、元本や利益(金利・配当金相当額を含む)を保証するものではありません。取引所株価指数は、対象指数の変動や為替相場の変動等により取得価格に対し変動するため、元本を割り込むおそれがあります。
- ・取引所株価指数証拠金取引のお取引に際し、当社が定める証拠金を差入れる必要があります。証拠金額は、東京金融取引所が発表する証拠金基準額をもとに当社が定める額であり、証拠金額は東京金融取引所の規制及び当社独自の判断で変更されることがあります。このため、取引金額の証拠金額に対する比率は一定でなくその比率を明記することができません。
- ・取引所株価指数証拠金取引の手数料は、1枚あたり156円(税込)です。また、対象となる銘柄によっては、売り方は所有期間に応じ、所定の金利を支払う必要があります。
- ・取引所株価指数証拠金取引は、お客さまが行う取引の金額が、その取引についてお客さまが預託しなければならない証拠金の額に比べて大きい額となっているため、損失の額が証拠金の額を上回る(元本超過損)おそれがあります。

- ・お問い合わせ(当社の窓口)→お客様サポートセンター フリーコール 0120-230-230 ※携帯・PHS・050で始まるIP電話からは 03-6688-8889(※通話料は有料になります)
- ・ご意見・苦情について(当社以外の窓口)→ 特定非営利活動法人証券・金融商品あっせん相談センター 電話: 0120-64-5005
- ・掲載情報は2020年3月3日現在のものです。詳細および最新情報は当社ホームページ(<https://kabu.com/default.html>)にてご確認ください。

auカブコム証券株式会社

金融商品取引業登録番号: 関東財務局長(金商)第61号

銀行代理業許可番号: 関東財務局長(銀代)第8号

加入協会: 日本証券業協会、一般社団法人金融先物取引業協会

電子決済等代行業者登録: 関東財務局長(電代)第18号

免責事項